



平成 28 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 ヒューマン・メタボローム・  
テクノロジー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 菅野 隆二  
(コード：6090、東証マザーズ)  
問合せ先 経営管理本部長 長谷川 哲也  
(TEL. 03-3551-2180)

## 平成 28 年 3 月期 通期個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ並びに 営業外費用、特別損失の発生に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の通期個別業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 平成 28 年 3 月期の通期個別業績との差異（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 ( A )	668	△54	28	11	2.10
当 期 実 績 ( B )	750	△14	△54	△148	△27.91
増 減 額 ( B - A )	81	39	△82	△159	—
増 減 率 ( % )	12.2	—	—	—	—

### 2. 差異の理由

メタボローム解析事業において、セミナーやキャンペーンを中心に積極的な販促活動を継続的に実施し、日本・米国ともに売上が伸長したことや、バイオマーカー事業において、大うつ病性障害のバイオマーカーに関するライセンス契約を締結したことに伴う一時金収入を計上した結果、増収となり営業利益の赤字幅は縮小しました。一方、連結子会社への貸付金に対し貸倒引当金を計上したことに加え、営業外収益に計上される補助金収入の減少等により経常利益は前年を下回り、連結子会社の株式への投資損失引当金を計上したことから当期純利益も前年を下回る結果となりました。

### 3. 営業外費用の計上について

当社の連結子会社である Human Metabolome Technologies America, Inc. に対する貸付金について、同社の財政状態及び経営成績等を勘案し貸倒引当金繰入額として 41 百万円を計上しております。なお、当貸倒引当金繰入額は連結決算においては消去されるため、連結財務諸表に与える影響はありません。

### 4. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である Human Metabolome Technologies America, Inc. に対する投資より発生する損失に備えるため、同社の実質価額低下の程度及び将来の回復見込等を勘案し投資損失引当金を計上することとしました。これに伴い、投資損失引当金繰入額 93 百万円を特別損失として計上しております。なお、当投資損失引当金繰入額は連結決算においては消去されるため、連結財務諸表に与える影響はありません。

以上